

WES

インプラント形溶接割れ試験方法 (追補 1 : 2025)

Method of Implant Cracking Test
(Amendment 1: 2025)

WES 1104 : 2025

WES 1104:1990 は平成 2 年 12 月 1 日付で改正されました。

この追補は、改正内容が記載されていますが、**WES 1104:1990** を併読して用いて下さい。

令和 7 年 X 月 X 日 改正

一般社団法人 日本溶接協会

The Japan Welding Engineering Society

WES 1104（インプラント形溶接割れ試験方法）

追補原案作成委員会 構成表

	氏	名	所	属	
(委員長)	中	島	清	孝	日本製鉄株式会社
(委員)	下	山	哲	史	株式会社神戸製鋼所
〃	大	森	章	夫	JFE スチール株式会社
〃	井	上	健	裕	日鉄テクノロジー株式会社
〃	田	川	哲	哉	JFE スチール株式会社
(事務局)	金	子		謙	一般社団法人日本溶接協会
〃	江	端	幹	夫	一般社団法人日本溶接協会

）
R
A
F
E

制定年月日：昭和36年3月1日

改正年月日：令和7年x月x日

原案作成委員会：一般社団法人日本溶接協会 鉄鋼部会 技術委員会 WES1104 追補原案作成委員会
（委員長 中島 清孝）

審議委員会：一般社団法人日本溶接協会 規格委員会（委員長 山根 敏）

この規格についてのご意見又はご質問は、一般社団法人日本溶接協会 業務部（〒101-0025 東京都千代田区
神田佐久間町 4-20）にご連絡ください。

なお、WES は、少なくとも 5 年を経過する日までに一般社団法人日本溶接協会 規格委員会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

白紙

DRAFT

追補 1 のまえがき

この **WES 1104:1990** の**追補 1:2025** は，一般社団法人日本溶接協会の定款及び諸規定に基づき，パブリックコメント公募を経て規格委員会の審議及び理事会によって承認され，**WES 1104:1990** を改正した内容だけを示すものである。

WES 1104:1990 は，この**追補 1** の内容が改正され，**WES 1104:2025** となる。

DRAFT

白紙

日本溶接協会規格

インプラント形溶接割れ試験方法
(追補 1 : 2025)

Method of Implant Cracking Test
(Amendment 1: 2025)

追補 1 の序文

本改正は引用規格の廃止に伴うものである。

WES 1104:1990 を次のように改正する。

引用規格の“JIS Z 3113 溶着金属の水素量測定方法”を，“JIS Z 3118 鋼溶接部の拡散性水素量測定方法”に置き換える。

箇条 7（試験結果の記録）の“JIS Z 3113 溶着金属の水素量測定方法”を，“JIS Z 3118 鋼溶接部の拡散性水素量測定方法”に置き換える。

解説の箇条 6（試験方法）の“JIS Z 3113”を，“JIS Z 3118”に置き換える。

DRAFT

日本溶接協会規格

WES1104 インプラント形溶接割れ試験方法（追補 1）

令和 7 年 X 月 X 日 第 1 刷発行

編 集 一般社団法人日本溶接協会 規格委員会

発行人 水沼 渉

発行所 一般社団法人 日 本 溶 接 協 会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20

<https://www.jwes.or.jp>